



はじめに

「自分が生きていること」をサイエンスしてみませんか。単に健康に関する情報を集めるということではなく、自然がうみだした「いのちのシステム」に、人間がうみだした「文化」—生活や運動、そして科学、スポーツ等をつなぐことで、日々の生活がゆたかになります。最新の身体運動科学、生命科学、脳科学等の知識を専門家の方にご紹介いただきながら、皆さんが普段疑問に思っている身近な問題に対しても話し合いながら答えを見つけてゆきたいとおもいます。「自分が生きていること」と学術と科学をつなげてゆくことができれば、自然科学的な視点だけではなく、人文社会学や、理工学、男女共同参画の原点、アジアや日本の文化がサイエンスでつながります。

この「身心一体科学で120歳まで元気に生き生きと」サイエンスカフェでは、日本学術会議健康・スポーツ科学分科会の委員が、研究対象の身体運動、健康、体力、スポーツ、細胞、身心問題、運動と脳など、人間が生きることにつなげて行ってきた研究や、研究者人生の多様性を、フロアの皆さまとのやりとりを通じて語ってゆくことにします。これまでのサイエンスカフェではなかった、研究者と市民とのいわば「からだを使った実践+講演会」のスタイルを楽しんでいただきたいと思います。(全4回予定)

身心一体科学で120歳まで元気に生き生きとサイエンスカフェ 実施風景

